

院外処方せんに記載されている検査値一覧(2016年12月19日現在)

項目名	基準値		単位	項目の説明
	男性	女性		
白血球数	35~85		100/uI	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示す他、薬剤の影響も反映します。
ヘモグロビン濃度	13.5~7.8	11.5~5.0	g/dI	貧血や多血症の診断・経過観察に用いられます。
血小板数	15~35		万/uI	止血のために働く血球の数です。出血傾向がある場合にその原因を探索するための検査の一つです。
総ビリルビン	0.4~1.3		mg/dI	黄疸の確認に用います。
CK	60~250	50~170	U/I	筋肉に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害があると上昇します。
AST(GOT)	10~35		U/I	肝臓、心筋、骨格筋等の障害、溶血の指標です。
ALT(GPT)	5~40		U/I	肝臓、腎臓、心臓、骨格筋に多く存在しています。ALTもAST同様、細胞の損傷により上昇しますが、ALTはASTに比べて半減期が長いです。急性肝炎や慢性肝炎で上昇します。
クレアチニン	0.7~1.1	0.4~0.8	mg/dI	腎機能・筋肉量の指標です。
eGFR(換算値)	—		—	血清クレアチニン値から計算された、腎機能の指標です。
K	3.6~4.8		mEq/l	電解質のバランスの指標です。神経伝達や筋伸縮に関与しています。
CRP	0~0.35		mg/dI	健常人の血清中にも極めて微量に存在するが、感染症などの時に著増します。急性期反応物質の代表的な成分です。
HbA1C	4.3~5.9		%	HbA1cはヘモグロビンと糖、グリコアルブミンはアルブミンと糖が結合したものです。血糖値及び高血糖の持続期間によって変化し平均血糖値を反映します。糖尿病の治療で血糖コントロールの指標の一つです。
PT-INR	0.8~1.2		—	外因系凝固時間を表している。INRとは国際標準比のことであり、経口抗凝固薬(ワルファリン)による治療のコントロールとして用いられる指標です。